

女性の就労環境整備の推進【広島市】

地域の実情と課題

- ・平成26年度に実施した「広島市男女共同参画に関するアンケート調査」の結果から、「男女が共に仕事と家庭を両立していくために必要なこと」として、企業の職場環境の整備に関する取組が上位に挙げられた。
- ・これを踏まえ、女性が個性と能力を十分に発揮して職業生活において活躍するため、女性が継続して働くことができる環境づくりの推進が課題として挙げられた。

事業の特徴

特徴

市内中小企業を対象に、継続的な支援を実施

事業の流れ

- ・企業が集積する西部開発地区に隣接した会場でシンポジウムを開催
↓
- ・同地区の業種別組合等を対象に、研修会・無料相談会を実施
↓
- ・コンサルティング経費補助
- ・優良企業に対する認定制度

事業の効果

シンポジウムは、西部開発地区の業種別組合等多数の中小企業関係者の出席を得ることができた。研修会に参加した企業へのアンケートの結果、女性の活躍推進に向けた具体的な取組を実施したい等、前向きな感想を得ることができた。また、参加者の多くが各企業の幹部であったことから、今後の実効性の高い取組の加速化が期待される。

- ・シンポジウム参加者:160名
- ・研修会派遣:3件
- ・女性の活躍推進法に基づく事業主行動計画の策定など、女性や若者のための職場づくりに関する取組を実施した企業:5社

目的・目標

女性や若者が働きがいのある安定した仕事を持てるよう、仕事と家庭の両立、正規雇用化、職場定着・継続就業等に取り組む地元中小企業を支援し、女性や若者のための良質な職場環境づくりを推進する。

- ・シンポジウム参加者:200名
- ・研修会派遣:16件
- ・女性の活躍推進法に基づく事業主行動計画の策定など、女性や若者のための職場づくりに関する取組を実施した企業:30社

連携団体

＜シンポジウム＞国、広島県、県内市町、経済団体などで構成する「働き方改革推進・働く女性応援隊ひろしま」と連携して実施

＜研修会＞西部開発地区の「商工センター地域経済サミット」等と連携して実施

＜無料相談会＞広島労働局、広島県、社会保険労務士会と連携し、相談チームを設置して実施

＜優良企業に対する認定制度＞西部開発地区などの業種別組合のほか、地元経済団体とも連携して制度を周知

今後の課題

- ・より小規模な企業ほど、職場環境の改善に向けた取組を行う余裕がないことから、取組に向けた第一歩として、研修会への参加を促す方を検討する必要がある。
- ・無料相談会と認定制度、コンサルティング経費の補助制度については、認知度、利用率の低さを改善するため、周知チラシの配布先を増やし、市政情報誌等で積極的にPRしていく。

事業の概要

(1) シンポジウムの開催

市内の企業(西部開発地区業種別組合加盟企業のほか、市内中小企業に広く周知・募集)を対象として、企業における女性の活躍促進に向けた取組の必要性について講演及びパネルディスカッションを行うシンポジウムを開催した。

(2) 業種別組合の単位での研修会の実施

西部開発地区の業種別組合に専門講師を派遣し、女性や若者の就労環境の整備を効果的に推進するため、女性や若者の活躍しやすい職場環境づくりに係る研修会を実施した。研修会では、社会保険労務士など専門家が、女性や若者の活躍推進に関する講義を行うとともに、本市の支援制度や厚生労働省の助成金の概要説明を行った。

(3) 無料相談会の実施

地元中小企業からの相談に無料で応じた。

(4) 優良企業に対する認定制度の創設

女性や若者に魅力ある職場づくりを積極的に進める地元中小企業を認定する制度を設けた。認定企業に対しては、市ホームページ等での取組の紹介や入札時の優遇などを行う。

(5) コンサルティング経費補助(市単独の取組)

職場環境の改善を行おうとする企業が、社会保険労務士等へコンサルティングを依頼する場合、その経費の一部を補助(補助率:1/2、限度額10万円)した。

シンポジウム

